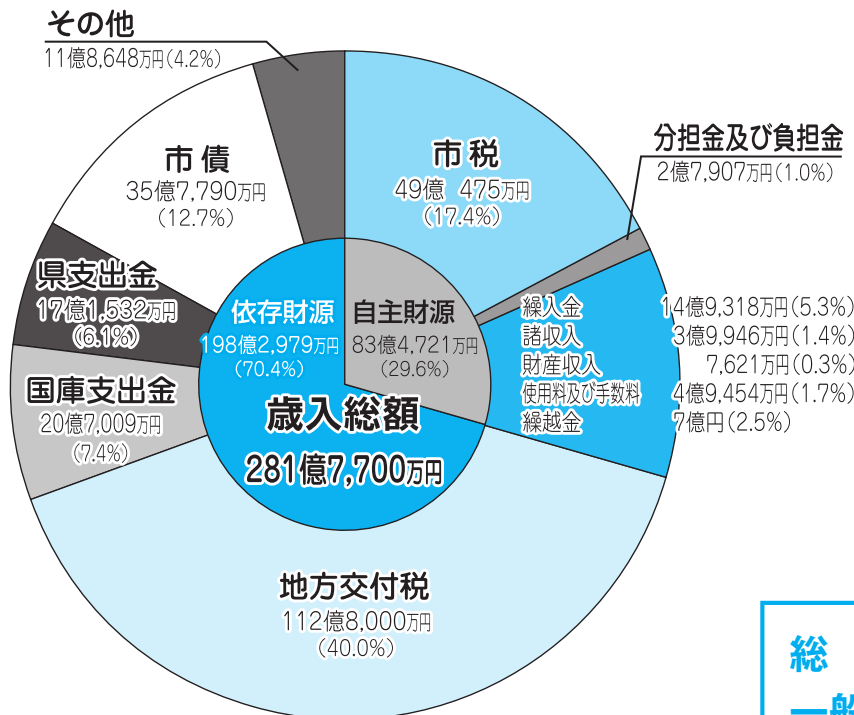


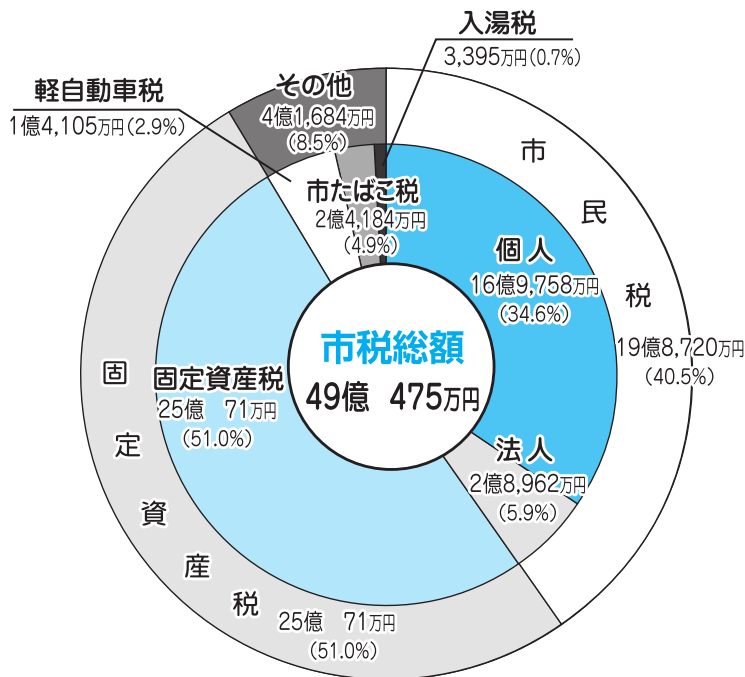
一般会計 歳入の内訳



平成30年度 当初予算

総額	493億8,426万円
一般会計	281億7,700万円
特別会計	137億7,715万円
企業会計	74億3,011万円

市税の内訳



予算編成7つの柱

- 産業・雇用
地域資源を活かして産業を育てるまち
- 環境・防災・社会基盤
美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち
- 健康・福祉
支えあい助け合う安心のまち
- 教育・文化・人づくり
香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち
- 自治・まちづくり
市民と行政が協働でつくるまち
- 地域振興
個性あふれる地域づくりを推進するまち
- 行財政運営
健全な行財政運営を実行するまち

郡上市の平成30年度予算の総額は、約494億円。そのうち福祉、医療、教育や道路整備など、みなさんにとって基礎的な行政サービスをを行う一般会計は、約282億円で平成29年度の当初予算に比べ、3.2%の減となっています。

一般会計の歳入のうち、市税は49億4,750万円(前年度比0.3%減)、国庫支出金は、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)や建築物耐震化事業補助金の増などにより20億7,009万円(同3.6%増)、地方交付税は合併算定特例措置の段階的縮減などにより11億2,000万円(同3.2%減)を見込んでいます。市債は、合併特例債の活用を進めますが、35億7,790万円(同5.8%減)となっています。

また、今年度は、ホテル積翠園改修と吹高原スポーツ広場第2グラウンド改修、白鳥ふれあい創造館改修のための財源として公共施設整備基金から2億円を、ケーブルテレビ伝送路等更新のための財源として、ケーブルテレビ事業整備基金から2億5,000万円を、財源不足を補うために財政調整基金から9億8,300万円を繰り入れることとしています。

市税収入などの自主財源は、83億4,721万円で全体の29.6%しかなく、地方交付税や国

《用語解説》

市税…市民のみなさんから納めていただく市民税や固定資産税など

繰越金…前年度から繰り越されたお金

繰入金…基金（特定の目的のために積み立てられる資金または財産）などを取り崩して、一般会計へ繰り入れるお金

分担金及び負担金…福祉事業や土木事業などに対する負担金

使用料及び手数料…住民票などの発行手数料や市営住宅の使用料など

市債…道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（借入金）

地方交付税…国税の定率分を、市の財政状況に応じた一定の基準により、国が交付するお金

国、県支出金…国、県の施策に沿った特定の事業を行う場合などに財源として交付されるお金

人件費…職員、議員などに支払われる給与や報酬など

公債費…主に事業を行うために借り入れたお金（市債）の元利償還金

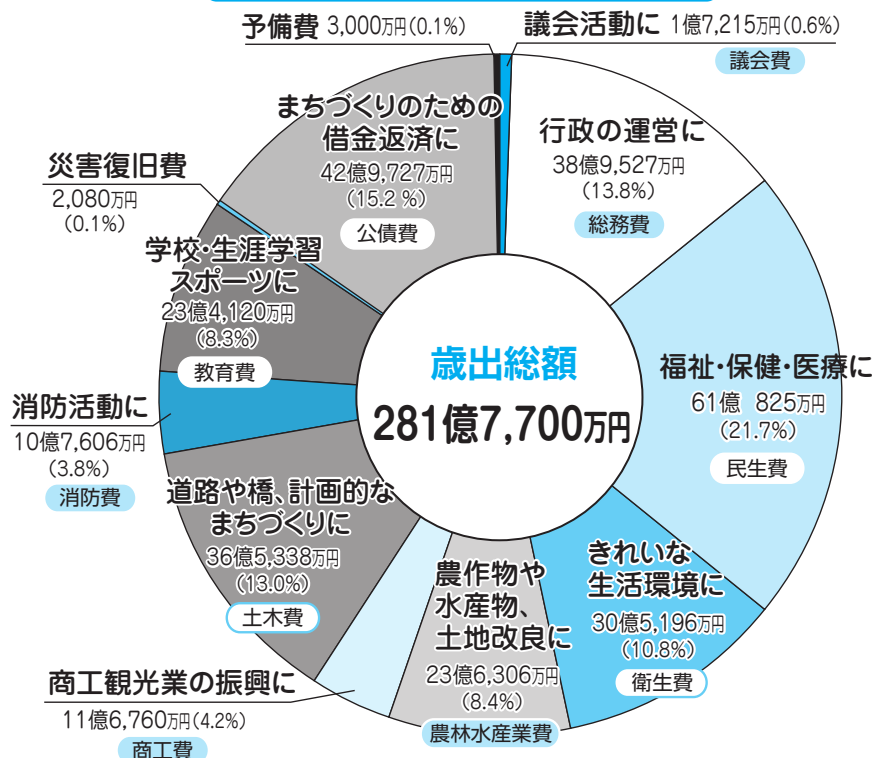
扶助費…児童や老人などの生活支援、生活保護などに使われる費用

普通建設事業費…道路や学校など、公共、公用施設の建設や整備にかかる費用

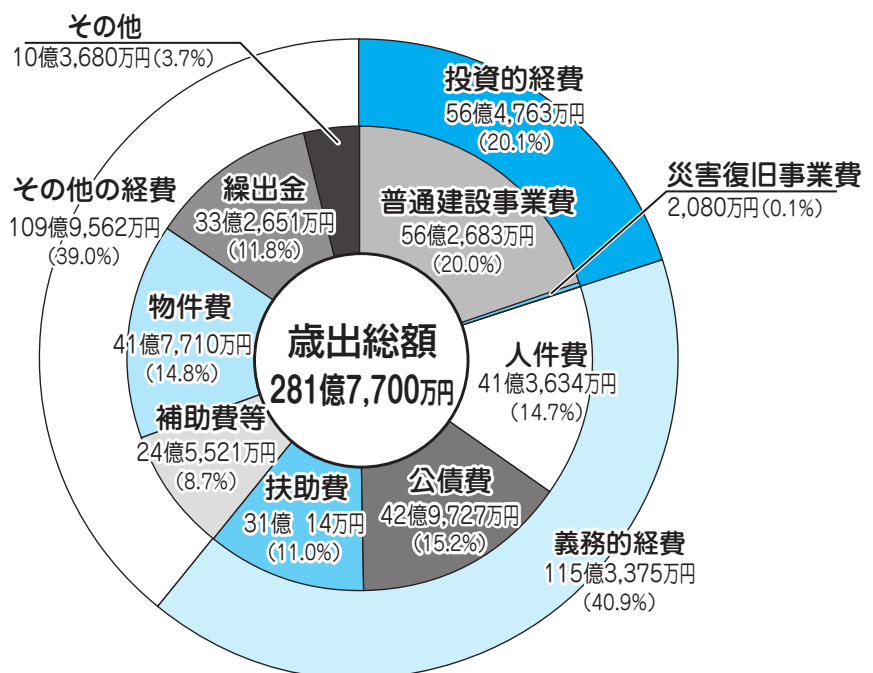
物件費…公共、公用施設の維持管理や旅費、交際費、需用費、備品の購入に充てられる費用

繰出金…一般会計から特別会計へ支出される経費

一般会計の主な使いみち



性質別の使いみち



県支出金などの依存財源の占める割合が大きなものとなっています。

歳出については、少子化対策や高齢者などに対する福祉医療、保健に使われる民生費が61億825万円（同2.6%減）、道路整備など市民生活に密接する土木費が36億5,338万円（同6.2%増）と、大きな割合を占めています。ケーブルテレビ伝送路等の老朽化による更新などの実施により総務費は38億9,527万円（同27.7%増）と大幅に増加しました。また、まちづくりの借金返済にあたる公債費は42億9,727万円（同5.3%減）となり、歳出全体の15.2%となっています。

性質別では、人件費と公債費、扶助費を合わせた義務的経費（同1.6%減）は40.9%と大きな割合を占め、普通建設事業などの投資的経費（同12.5%減）は、20.1%となっています。また、一般会計から特別会計へ支出される繰出金（同13.8%減）は、簡易水道事業特別会計廃止に伴う水道事業会計への統合などの影響により11.8%となりました。

今後大変厳しい状況が続くと予想され、引き続き職員定数の適正化や公共施設の見直しなどを進め、財政の健全化を最重要課題として、行政改革に取り組んで行く必要があります。

全会計における市債・公債費・市債残高の推移

(収入)

(支出)

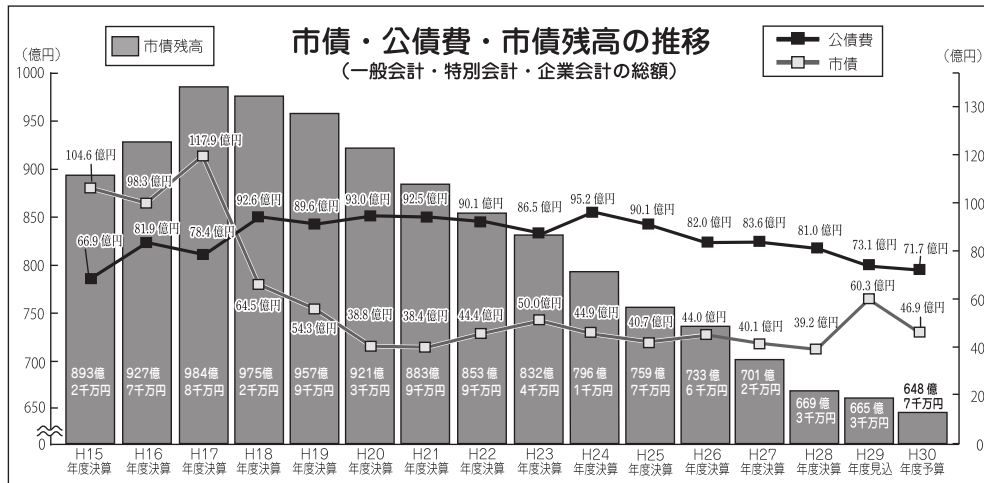
(ストック)

ここでは、市が道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（市債）、借り入れたお金の返済金（公債費）、借り入れ金の残高（市債残高）について、平成15年度末の合併時から平成30年度（予算）までの間に、どのように推移してきたのかを表とグラフを使って説明します。

▼市債（借入金）の推移…合併時の104億6千万円から比較すると、今年度の当初予算では半分以下の46億9千万円となっています。市の厳しい財政状況から、今後も計画的な借り入れによる財政運営を継続します。（平成16年度から平成17年度にかけて増えているのは、市民病院建設等により一時的に増加したものです。また、平成29年度は平成28年度からの繰越事業や郡上市北部斎苑、郡上市歴史資料館などの大規模事業により増加しています。）

▼公債費（返済金）の推移…繰上償還を平成24年度に約10億円、平成25年度には約8億円、平成26年度は約3億円行ったため公債費が多くなっていますが、実質的には平成20年度の93億円がピークで、今年度の当初予算では71億7千万円となっています。平成27年度、平成28年度にも約6億円の繰上償還を実施しており、公債費は徐々に減少する見込です。

▼市債残高（借入残高）…合併時から平成17年度までは増加し、最大で984億8千万円でした。新年度における残高見込は648億7千万円となりますので、13年間でピーク時の34.1%を減額しました。今後も借入残高を減らす努力を継続します。



一般会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
市債	70.8	68.6	58.5	46.3	38.4	31.5	33.4	38.7	42.3	34.0	28.4	28.9	28.8	23.5	51.5	35.8
公債費	52.1	59.8	55.1	58.1	61.5	60.9	59.3	62.0	58.2	66.6	62.6	55.5	57.0	53.8	45.0	42.9
うち元金分	42.6	50.3	46.2	49.1	52.6	52.4	51.3	54.5	51.1	60.1	56.9	50.5	52.6	50.2	42.1	40.3
うち利子分	9.5	9.6	9.0	9.1	9.0	8.5	8.0	7.5	7.1	6.5	5.7	5.0	4.3	3.6	2.9	2.6
市債残高	507.6	526.1	538.4	535.6	526.3	505.4	487.5	471.7	462.9	436.8	408.4	386.8	362.9	336.2	345.6	341.1

特別会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
市債	25.2	18.6	14.8	14.3	15.4	6.9	4.7	5.7	6.9	9.7	9.6	14.2	10.9	14.8	7.9	7.5
公債費	10.9	17.4	19.1	22.0	23.2	27.3	28.1	22.6	22.4	22.8	21.4	19.9	19.9	20.4	21.3	15.9
うち元金分	8.7	10.7	12.2	15.0	16.3	20.4	21.6	16.6	16.6	17.2	16.0	14.7	14.9	15.6	16.9	12.7
うち利子分	2.2	6.7	7.0	7.0	6.9	6.9	6.5	6.0	5.8	5.6	5.4	5.2	5.0	4.7	4.5	3.2
市債残高	326.6	334.5	337.2	336.4	334.2	320.7	303.9	292.9	283.3	275.9	269.5	269.1	265.2	264.4	255.4	174.7

企業会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
市債	8.6	11.1	44.6	3.9	0.5	0.3	0.2	0.0	0.8	1.1	2.6	0.9	0.4	0.9	0.9	3.6
公債費	3.9	4.6	4.1	12.5	4.9	4.8	5.1	5.5	5.9	5.8	6.1	6.6	6.7	6.8	6.8	12.9
うち元金分	2.3	2.9	2.5	10.0	2.6	2.5	2.9	3.4	3.8	3.8	4.3	4.8	5.1	5.2	5.3	10.5
うち利子分	1.6	1.7	1.6	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6	1.5	2.4
市債残高	59.0	67.1	109.2	103.1	97.5	95.3	92.6	89.2	86.2	83.4	81.8	77.7	73.1	68.7	64.3	132.9

合 計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
市債	104.6	98.3	117.9	64.5	54.3	38.8	38.4	44.4	50.0	44.9	40.7	44.0	40.1	39.2	60.3	46.9
公債費	66.9	81.9	78.4	92.6	89.6	93.0	92.5	90.1	86.5	95.2	90.1	82.0	83.6	81.0	73.1	71.7
うち元金分	53.6	63.9	60.8	74.1	71.5	75.4	75.8	74.5	71.5	81.0	77.0	69.9	72.6	71.1	64.3	63.5
うち利子分	13.3	18.0	17.6	18.5	18.2	17.6	16.7	15.6	15.0	14.1	13.0	12.0	11.0	10.0	8.8	8.3
市債残高	893.2	927.7	984.8	975.2	957.9	921.3	883.9	853.9	832.4	796.1	759.7	733.6	701.2	669.3	665.3	648.7

※市債、公債費、市債残高の平成28年度以前は決算の数値です。
 ※数値は端数調整により、合計額と合わない場合があります。
 ※平成29年度、30年度の数字は、今後の決算や補正予算によって変わることがあります。

※平成30年度の市債残高は会計統合後の残高となります。
 (ケーブルテレビ事業特別会計は一般会計へ統合、簡易水道事業特別会計は水道事業会計へ統合)

決算 当初
見込 予算

平成30年度

当 初 予 算 全 会 計 一 覧

会 計		平成30年度予算額	平成29年度予算額	増減率 (%)	予算の内容
一 般 会 計		281億7,700万円	291億2,200万円	▲3.2	基礎的な行政サービスに
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	46億3,990万円	58億 13万円	▲20.0	国民健康保険の運営に
	国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	4億7,007万円	4億9,035万円	▲4.1	高鷲・和良診療所、和良歯科診療所の運営に
	簡易水道事業特別会計	0万円	13億4,101万円	皆減	簡易水道の供給や工事に
	下水道事業特別会計	23億9,855万円	23億5,506万円	1.8	下水処理や下水道工事に
	介護保険特別会計	43億4,404万円	42億 317万円	3.4	介護保険の運営に
	介護サービス事業特別会計	7億3,841万円	7億1,291万円	3.6	郡上偕楽園特別養護施設の運営と白鳥病院などで行う介護サービスの運営に
	ケーブルテレビ事業特別会計	0万円	1億2,828万円	皆減	郡上ケーブルテレビの運営に
	駐車場事業特別会計	410万円	397万円	3.3	市営駐車場の管理運営に
	宅地開発特別会計	573万円	573万円	0.0	分譲地の販売及び経費に
	青少年育英奨学資金貸付特別会計	4,054万円	3,383万円	19.8	就学の支援に
	鉄道経営対策事業基金特別会計	88万円	88万円	0.6	長良川鉄道の経営安定などに
	後期高齢者医療特別会計	5億9,470万円	5億8,352万円	1.9	高齢者の医療に
	小水力発電事業特別会計	3,203万円	1,419万円	125.8	小水力発電施設の管理運営に
	工業団地事業特別会計	3億5,410万円	0万円	皆増	工業団地の造成に
	大和財産区特別会計	1,200万円	1,873万円	▲35.9	財産区有林の育成に
	白鳥財産区特別会計	835万円	1,108万円	▲24.6	財産区有林の育成に
	牛道財産区特別会計	1,533万円	1,692万円	▲9.4	財産区有林の育成に
	石徹白財産区特別会計	3,832万円	3,470万円	10.4	財産区有林の育成に
	高鷲財産区特別会計	3,849万円	3,107万円	23.9	財産区有林の育成に
	下川財産区特別会計	505万円	542万円	▲6.7	財産区有林の育成に
	明宝財産区特別会計	2,670万円	2,150万円	24.2	財産区有林の育成に
	和良財産区特別会計	985万円	624万円	58.0	財産区有林の育成に
特別会計 計		137億7,715万円	158億1,869万円	▲12.9	
企 業 会 計	水道事業会計 (収益)	12億6,912万円	3億 829万円	311.7	上水道の供給や上水道工事に
		(資本)	10億1,895万円	3億9,035万円	
	病院事業会計 (収益)	43億5,163万円	43億2,039万円	0.7	市民病院、白鳥病院の運営に
		(資本)	7億9,042万円	6億7,212万円	
企業会計 計		74億3,011万円	56億9,115万円	30.6	
総 額		493億8,426万円	506億3,184万円	▲2.5	

※各会計の合計額は四捨五入により合わない場合があります。

◆ 平成30年度 「がんばるしごと」 ◆

白山ユネスコエコパーク推進事業……………	126万円
清流条例推進事業……………	144万円
観光景観林100年事業……………	315万円
都市再生整備計画事業 (電線類無電柱化整備事業 他)……………	5億5,608万円

② 循環型社会の実現を図ります

焼却施設解体事業……………	7,506万円
郡上クリーンセンター大規模修繕事業 ……………	1億1,456万円
ごみ減量化対策事業……………	60万円
環境衛生センター大規模修繕事業……………	8,750万円
県営地域用水環境整備事業……………	4,125万円
小水力発電研究事業……………	858万円

③ 暮らしの中の安全・安心を守ります

防災行政無線整備事業……………	3億6,541万円
建築物耐震化事業……………	264万円
土砂災害特別警戒区域内住宅建替等事業 ……………	300万円
岐阜県消防操法大会開催事業……………	1,944万円
消防施設整備事業……………	8,160万円
災害対策事業費……………	2,284万円

④ 効果的な整備と適切な維持管理により 社会基盤の充実を図ります

地方交通対策経費……………	1億7,279万円
郡上市新産業創造事業……………	579万円
携帯電話等エリア整備事業……………	1,562万円
ケーブルテレビ伝送路等更新事業……………	7億円
ケーブルテレビ整備事業……………	3,924万円
社会資本整備総合交付金事業 【トンネル点検3カ所、道路・橋りょう整備……… 〔八幡〕下尾崎・本町線他3路線、〔大和〕上剣・中 万場線、〔白鳥〕白鳥中西線他5路線、〔高鷲〕大原 線他3路線、〔明宝〕口長尾線他3路線、〔和良〕宇 山線】……………	3億2,170万円
合併特例道路整備事業 【〔八幡〕神谷・棚井線、〔大和〕徳永支線、〔白鳥〕 南小向2号線 他2路線、〔高鷲〕ひなさ線 他1路線、 〔美並〕釜ヶ滝本線 他4路線】……………	3億9,670万円

3. 健康・福祉

《支えあい助け合う安心のまち》

① 結婚から出産、子育てへの切れ目のない支援を 充実します

ふれあい交流事業……………	520万円
乳幼児医療費助成事業（県）……………	5,803万円
小中学生医療費助成事業（市）……………	7,507万円
高校生等医療費助成事業（市）……………	1,076万円
がんばれ子育て応援事業……………	3,330万円
子ども・子育て支援事業……………	219万円
赤ちゃんの駅整備事業……………	38万円

② 心身ともに健やかな暮らしの実現を目指します

自殺予防対策事業……………	176万円
予防接種事業……………	9,258万円
がん検診……………	7,242万円
健康づくりプロジェクト事業……………	91万円

1. 産業・雇用

《地域資源を活かして産業を育てるまち》

① 豊かな自然を活かした農業・畜産業・水産業を 育てます

農産物生産拡大支援事業……………	120万円
農業次世代人材投資事業……………	975万円
地場農産物拡販奨励事業……………	181万円
世界農業遺産推進事業……………	540万円
農業6次産業化促進支援事業……………	46万円
新規就農サポート事業……………	120万円
畜舎防疫設備整備事業……………	325万円
市営牧場ニホンジカ対策事業……………	481万円

② 豊富な森林の保全と活用を図ります

ニホンジカ捕獲事業……………	2,700万円
郡上市産材住宅建設等支援事業……………	2,210万円
森林・林業人材育成事業……………	263万円
“自分の山へ行こう”入山推進モデル事業…	40万円
地域森林監理士活用事業……………	170万円
東京オリ・パラ選手村ビレッジプラザ 木材提供事業……………	400万円

③ ひと・もの・情報の集まる商工業を育てます

旧越前屋改修事業……………	805万円
商工会活動事業……………	4,633万円
新商品開発支援事業……………	196万円
産業支援センター活動経費……………	1,945万円
小規模事業者支援事業……………	838万円
八幡市街地空き家利活用推進事業……………	1,131万円

④ 地域産業の核となる観光・交流産業の活性化を 図ります

郡上カンパニープロジェクト推進事業…	5,598万円
海外トップセールス推進事業……………	300万円
観光振興対策事業……………	1,057万円
外国人観光客誘致事業……………	907万円
「日本一のおどりのまち郡上」推進事業 ……………	2,416万円
宿泊施設改修支援事業……………	5,009万円
「観光立市郡上」推進事業……………	1,461万円
観光施設整備事業（ホテル積翠園改修 他） ……………	2億2,616万円
道の駅施設整備事業（道の駅清流の里しりと 改修 他）……………	2,127千円
農泊推進施設改修事業……………	3,689千円

⑤ 雇用の場・機会の創出と魅力ある就労環境を 目指します

事業所等設置奨励金交付事業……………	6,183万円
企業誘致促進事業……………	1,826万円
雇用対策推進事業……………	2,596万円
空き店舗等活用事業……………	1,513万円
企業誘致関連整備事業……………	9,509万円

2. 環境・防災・社会基盤

《美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち》

① 自然環境を守り、快適な住環境の実現を図ります

過疎地域等空き家活用推進事業……………	900万円
---------------------	-------

⑤ 郡上のこれまでと今を学び、郡上のこれからを
考え行動する「郡上学」を推進します

郡上学講座開催事業	27万円
郡上学推進事業	237万円
夢づくり教育事業	
〔小学校〕郡上学体験学習清流教育	1,011万円
冬季スポーツ体験	340万円
〔中学校〕郡上学体験学習清流教育	797万円
東京都港区交流	137万円
冬季スポーツ体験	28万円

5. 自治・まちづくり 《市民と行政が協働でつくるまち》

① 市民主体のまちづくりを支援します

地域振興事業	1,489万円
地域おこし協力隊派遣事業	2,400万円
過疎地域自立促進事業	2,901万円
住民自治推進事業	1,209万円

② 誰もが尊重される地域社会を形成します

男女共同参画推進事業	97万円
児童虐待・DV対策総合支援事業	237万円

③ 交流・連携によるまちづくりを推進します

大都市ネットワーク構築事業	174万円
交流・移住推進事業	924万円
ずっと郡上・もっと郡上都市農村対流戦略的 イノベーションプロジェクト事業	
「郡上藩江戸蔵屋敷事業」	1,074万円
ご当地ナンバープレート作成事業	137万円

6. 行財政運営 《健全な行財政運営を実行するまち》

① 市民にとって開かれた身近な市役所を目指します

マスコットキャラクター啓発事業	72万円
広報活動経費	999万円
ホームページリニューアル経費	318万円
総合計画推進事業	33万円

② 成果を重視する効率的かつ効果的な行財政運営を
図ります

庁舎等整備事業（高鷲庁舎耐震補強改修 他）	
.....	1億7,177万円
ふるさと寄附啓発事業	1,180万円
公共施設マネジメント推進事業	648万円
行政ネットワーク機器更新事業	1,867万円

市役所の組織変更について

4月1日から市役所の組織体制が一部変わります

平成30年度組織改革により、市の主要施策である「観光立市郡上」を推進するため、市長公室に新たに《政策推進課》を設置しました。

また、わかりやすく機能的な行政サービスを提供できるように、総務部財務課を予算・決算等を担当する《財政課》と、契約・財産管理等を担当する《契約管財課》の2課に再編しました。

③ 生きがいをもち、安心できる暮らしの実現を
目指します

介護予防ケアマネジメント事業	2,639万円
在宅高齢者等介護慰労事業	1,709万円
介護職員確保対策事業	56万円
介護老人福祉施設等整備補助金	4,318万円

④ 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを
目指します

重度心身障害者医療費助成事業	2億7,371万円
障害者自立支援給付事業	8億1,699万円
障害者地域生活支援事業	3,490万円
在宅障害者交通費助成事業	439万円
重度心身障害者介護者慰労金助成事業	330万円
障害者日常生活支援事業	177万円
障害児保育対策事業	660万円
児童発達支援事業	2,277万円

4. 教育・文化・人づくり 《香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち》

① 確かな学力と豊かな心をもった「郡上人」を
育てます

高校生通学費助成事業	1,119万円
部活動指導員配置促進事業	266万円
学力向上事業	
〔小学校〕読書活動の充実	
（図書購入、図書館運営）	1,789万円
プログラミング推進	318万円
ICT活用	3,432万円
指導法改善	26万円
幼保小連携	8万円
〔中学校〕読書活動の充実	
（図書購入、図書館運営）	392万円
ICT活用	1,870万円
指導法改善	27万円
英語指導助手招へい	2,431万円
中高一貫教育推進	2万円

心の教育推進事業

〔小学校〕道徳教育推進	4万円
不登校対策充実	777万円
不登校対策リーダー育成	57万円
〔中学校〕不登校対策充実	1,426万円

② 市民が地域文化に触れる機会を広げます

歌のまちづくり事業	680万円
伝建防災事業	1,498万円
八幡城天守耐震補強事業	648万円
文化施設整備事業（明宝歴史民俗資料館改修 他）	
.....	4,316万円

③ 生涯スポーツ活動を推進します

スポーツ大会開催事業	44万円
2020スポーツツーリズム推進事業	1,970万円
体育施設整備事業（五町社会体育施設耐震補強・ 増築 他）	1億2,143万円

④ 生涯学習の充実に図り地域を担う人材育成の
機会を広げます

公民館活動経費	4,044万円
生涯学習振興事業	935万円
図書等整備事業	1,308万円
図書館子ども読書活動推進事業	59万円